



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月5日

上場会社名 株式会社AOKIホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 8214 URL http://www.aoki-hd.co.jp/  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青木 彰宏  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役副社長 (氏名) 田村 春生 (TEL) 045-941-1388  
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	46,314	2.5	1,650	△36.6	1,629	△37.7	870	△52.9
28年3月期第1四半期	45,205	3.0	2,603	22.7	2,614	22.4	1,848	18.1

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 590百万円(△71.1%) 28年3月期第1四半期 2,044百万円(17.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	9.75	—
28年3月期第1四半期	20.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	228,978	140,831	61.5
28年3月期	230,363	142,926	62.0

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 140,744百万円 28年3月期 142,838百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	21.00	—	22.00	43.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	82,680	1.2	400	△89.1	350	△90.3	100	△95.4	1.12
通期	194,600	3.2	15,800	△11.2	15,700	△10.9	8,800	△9.4	98.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	29年3月期1Q	90,649,504株	28年3月期	90,649,504株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	1,839,592株	28年3月期	984,762株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	29年3月期1Q	89,301,220株	28年3月期1Q	91,000,616株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビューが実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円高の進行等による企業業績の悪化懸念や個人消費の低迷などにより景気停滞感が継続しております。また、不安定な海外情勢などもあり先行きは依然として不透明な状況で推移しております。

このような環境のなかで、当社グループは各事業において下記のような諸施策を実施した結果、売上高は463億14百万円（前年同期比2.5%増）、営業利益は16億50百万円（前年同期比36.6%減）、経常利益は16億29百万円（前年同期比37.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億70百万円（前年同期比52.9%減）となりました。

セグメントごとの業績は、以下のとおりです。

#### (ファッション事業)

AOKIでは、「本当に洗えるスーツ」や「ハイスペックノーアイロンシャツ」等のクールビズに対応した高機能・高付加価値商品の提案を強化するとともに、働く女性に向けたオフィスカジュアルアイテムとして、ご自宅で手洗いが可能なジャケット・ボトムをラインアップするなど、レディース商品の更なる拡充を図りました。また、夏の大規模改装に向けたセール等の実施により客数が増加いたしました。店舗面では、ショッピングセンター等へ3店舗を新規出店した一方、3店舗を閉鎖した結果、当第1四半期末の店舗数は567店舗（前期末567店舗）となりました。

ORIHICA（オリヒカ）は、ご好評いただいている「THE 3rd SUITS（サードスーツ）」の拡充や「スーパーノーアイロンシャツ」を発売するとともに、シャツやブラウスに絞った期間限定「POP UP SHOP」をアトレ吉祥寺にオープンし、更なる認知度の向上を図りました。店舗面では、初となるアウトレットへ1店舗を新規出店した一方、1店舗を閉鎖した結果、当第1四半期末の店舗数は144店舗（前期末144店舗）となりました。

これらの結果、売上高は282億36百万円（前年同期比4.4%増）、営業利益は改装セール等に伴う売上総利益率の低下や販売促進費の増加等により5億60百万円（前年同期比37.9%減）となりました。

#### (アニヴェルセル・ブライダル事業)

ゲストハウスウェディングスタイルの挙式披露宴施設を展開しているアニヴェルセル株式会社は、各施設のコンセプトやブランドイメージを強みとした販促・PRを実施するとともに、新たな集客施策としてプロポーズプランやパママ・キッズ婚等の強化を図りました。また、4月より本格稼働した基幹システムの入替えにより営業効率の改善に注力いたしました。しかしながら、市場環境等により施行組数が減少いたしました。

これらの結果、売上高は67億81百万円（前年同期比14.6%減）、営業利益は6億57百万円（前年同期比48.1%減）となりました。

#### (カラオケルーム運営事業)

株式会社ヴァリックのカラオケルーム運営事業は、春・夏の新メニューなど期間限定メニューの提案を強化するとともに、コンセプトルーム拡充等10店舗のリニューアルの実施及び昨年度スタートしたプライベートシネマ「シネカラ」導入店舗の拡大など、既存店の活性化に注力いたしました。店舗面では、駅前に2店舗を新規出店した一方、1店舗を閉鎖した結果、当第1四半期末の店舗数は184店舗（前期末183店舗）となりました。

これらの結果、新規出店が寄与したものの競争激化等により既存店が苦戦し、売上高は42億5百万円（前年同期比1.7%増）、営業損失は1億46百万円（前年同期は85百万円の営業利益）となりました。

#### (複合カフェ運営事業)

株式会社ヴァリックの複合カフェ運営事業は、アミューズメントコンテンツの拡充や女性専用エリア導入など9店舗のリニューアル及びフードメニューの充実等を実施し、既存店の活性化を図りました。店舗面では、9店舗を新規出店した結果、当第1四半期末の店舗数は304店舗（前期末295店舗）となりました。

これらの結果、新規出店効果と既存店が引き続き堅調に推移し、売上高は70億98百万円（前年同期比16.5%増）、営業利益は3億93百万円（前年同期比25.0%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ13億85百万円減少し、2,289億78百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金が短期借入れ等により19億71百万円増加した一方、売掛金が季節的要因等により35億28百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ13億77百万円減少いたしました。固定資産は、有形固定資産が新規出店等により3億80百万円増加した一方、無形固定資産が1億10百万円及び投資その他の資産が2億77百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ7百万円減少いたしました。

(負債)

流動負債は、未払法人税等が法人税等の支払いにより22億89百万円減少した一方、短期借入れを30億円実施したこと等により、前連結会計年度末と比べ3億64百万円増加いたしました。固定負債は、リース債務等のその他が2億14百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比べ3億45百万円増加いたしました。

(純資産)

純資産の部は、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益及び剰余金の配当の結果8億12百万円減少し、自己株式が取得により10億1百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比べ20億94百万円減少しております。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績については、概ね予想どおり推移しており、平成28年5月12日に公表した業績予想を修正しておりません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日。以下「回収可能性適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間から適用し、繰延税金資産の回収可能性に関する会計処理の一部を見直しております。

回収可能性適用指針の適用については、回収可能性適用指針第49項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点において回収可能性適用指針第49項(3)①から③に該当する定めを適用した場合の繰延税金資産及び繰延税金負債の額と、前連結会計年度末の繰延税金資産及び繰延税金負債の額との差額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加算しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首において、繰延税金資産(投資その他の資産)が110百万円、利益剰余金が110百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	27,560	29,531
売掛金	9,437	5,909
たな卸資産	27,835	27,749
その他	9,111	9,369
貸倒引当金	△45	△38
流動資産合計	73,899	72,521
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	58,900	58,923
土地	36,934	36,953
その他(純額)	12,010	12,350
有形固定資産合計	107,846	108,226
無形固定資産	6,680	6,570
投資その他の資産		
差入保証金	8,307	8,293
敷金	20,576	20,679
その他	13,093	12,726
貸倒引当金	△40	△40
投資その他の資産合計	41,936	41,659
固定資産合計	156,464	156,456
資産合計	230,363	228,978
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	18,021	16,758
短期借入金	—	3,000
1年内返済予定の長期借入金	4,050	3,350
未払法人税等	2,669	380
賞与引当金	1,708	936
役員賞与引当金	98	30
その他	11,700	14,156
流動負債合計	38,248	38,613
固定負債		
長期借入金	36,275	36,275
役員退職慰労引当金	1,845	1,879
ポイント引当金	1,014	1,014
退職給付に係る負債	853	878
資産除去債務	5,109	5,180
その他	4,090	4,305
固定負債合計	49,187	49,533
負債合計	87,436	88,146

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	23,282	23,282
資本剰余金	27,833	27,833
利益剰余金	92,929	92,117
自己株式	△1,436	△2,438
株主資本合計	142,609	140,795
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	612	303
退職給付に係る調整累計額	△383	△354
その他の包括利益累計額合計	229	△51
新株予約権	87	87
純資産合計	142,926	140,831
負債純資産合計	230,363	228,978

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	45,205	46,314
売上原価	24,674	26,365
売上総利益	20,530	19,948
販売費及び一般管理費	17,926	18,298
営業利益	2,603	1,650
営業外収益		
受取利息	28	27
受取配当金	91	59
不動産賃貸料	152	152
その他	70	46
営業外収益合計	342	285
営業外費用		
支払利息	82	78
不動産賃貸費用	142	126
その他	107	101
営業外費用合計	332	307
経常利益	2,614	1,629
特別利益		
投資有価証券売却益	—	29
特別利益合計	—	29
特別損失		
減損損失	—	68
災害による損失	—	95
特別損失合計	—	164
税金等調整前四半期純利益	2,614	1,494
法人税、住民税及び事業税	246	357
法人税等調整額	518	266
法人税等合計	765	624
四半期純利益	1,848	870
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,848	870



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	1,848	870
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	173	△309
退職給付に係る調整額	22	29
その他の包括利益合計	195	△280
四半期包括利益	2,044	590
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,044	590
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)

自己株式の取得

当社は、平成28年2月15日開催の取締役会決議に基づき、自己株式854千株の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が1,001百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が2,438百万円となっております。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ファッション 事業	アニヴェル セル・ブラ イダル事業	カラオケ ルーム 運営事業	複合カフェ 運営事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	27,047	7,930	4,132	6,093	45,205	—	45,205
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	9	0	—	9	△9	—
計	27,048	7,939	4,133	6,093	45,214	△9	45,205
セグメント利益	902	1,265	85	314	2,569	34	2,603

(注) 1. セグメント利益の調整額34百万円には、セグメント間取引消去1,098百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,064百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門等の費用です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ファッション 事業	アニヴェル セル・ブラ イダル事業	カラオケ ルーム 運営事業	複合カフェ 運営事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	28,235	6,777	4,203	7,098	46,314	—	46,314
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	4	1	—	6	△6	—
計	28,236	6,781	4,205	7,098	46,321	△6	46,314
セグメント利益 又は損失(△)	560	657	△146	393	1,464	185	1,650

(注) 1. セグメント利益の調整額185百万円には、セグメント間取引消去1,090百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△905百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門等の費用です。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ファッション事業」セグメントにおいて、店舗の建替えが決定し回収が見込めなくなった営業店舗について減損損失を認識いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては68百万円です。